

山行報告書		京都田辺山友会	報告者	山下 隆			
山名	住塚山・国見山		山行名	住塚山・室生 (海自然歩道⑬)			
ルート	曾爾長野一屏風岩一住塚山一国見山一クマタワ峠一室生寺						
山行日	2015. 4. 12(日)		天候	曇り			
参加者	リーダー： 山下 隆 男性： 津田、上田、竹原、宮野、中島、 女性： 上田、伊藤、竹原、江平、徳田、倉光		サブリーダー：小川弘二 合計 13 名				
ルート概略図		コースタイム					
<p>室生バス停 360m (舗装道路) ↑ 宇野川バス停 ↑ (東海自然歩道) ↑ タマワタ峠 796m ↑ 住塚山 1009m ↑ 国見山 1016m ↑ 屏風公苑 751m (舗装道路) ↑ 曾爾長野バス停 424m</p>		地名	時：分	地名	時：分		
		曾爾長野	集	9:00	国見山	着	12:23
			発	9:05		発	12:32
		屏風公苑	着	10:00	クマタワ峠	着	13:15
			発	10:20		発	13:20
		住塚山	着	11:08	室生寺バス停	着	15:15
			発	11:40		発	15:17
						着	
						発	
						着	
				発			

山行報告； 天候不良が続く4月であって、数日前からの天気予報では12日は晴れマーク。当日は新田辺では晴天でホットするも、予想より寒い。現地は曇りだったが、山からの展望は良好だった。直前まで参加・不参加の出入りが激しく変化したが我らの年齢ではいろいろ起こるのは仕方ないことだ。

計画に当たっては、先輩の白波瀬さんから13年前の情報を頂いてタイムスケジュールを立案したので、ビックリする位の精度で計画通りの山行が出来た。キチンと残っている過去の記録は会の大きな財産であることを再認識した。

榛原発のバスに乗り、曾爾村バス停で降り、標識に従って歩き始めると、すぐに紅・白の桃・桜に迎えられる。公苑までの標高320mの舗装道路では準備運動完璧となるも、1時間の歩行は応えた。屏風公苑には清潔なトイレが完備し、ありがたい。幅1.5km高さ200mもある柱状節理をバックにした公苑の桜はまだつぼみはチラホラなのは残念だった。標高が高いので、平地より大幅遅れて4/20頃がベストだろう。住塚・国見の縦走はほどほどに厳しい所があったり、落葉でのフカフカの道があったりと、冬休みでなまっていた体には程よい刺激になり、皆さん完走出来たことはいうれしかった。私も得意のツリもなくホットする。後半の東海自然歩道6.4kmはずっと宇野川のほとりで、川音も心地良く、滑り台のような流れが2-300mもあったり、滝・渡渉・長い石畳みがあったりと変化に富み、谷間の湿気で岩はコケムしていて、熊野古道を思い出した。キップ購入名人の竹原絹枝さんのおかげで交通費5-6百円安くなり、缶ビールの大が2本飲めるとはしゃいだが、近鉄室生口大野の駅前にはそれらしきところなくがっかりする。世話役は事前調査が必要との声も上がる。歩数は2.7万歩。

ヒヤリハット； 東海自然歩道途中。幅約50cm弱、長さ約5m位の木製橋は湿っていてスベリ易い。慎重に歩いたが、滑って橋上で尻もちをつきドッキリとする。下手したら、約2m下に落下し、怪我した可能性あろう。

仕事のつもりが急に休みが取れたので急遽、前日参加を申し込む。断る理由がないと快く了解して頂いた。又 SLが急遽参加できなくなり、一番最後に申込んだということで代行を申し受けることとなった。

この企画は1月に予定されていたが希望者が3名と少なく、今回は再チャレンジとなった。前回は樹氷に魅かれて申し込んだが今回は屏風岩と桜のマッチングを楽しみに申し込んだ。

榛原駅でバス待ちしているときに他のグループの人が3分咲きとインターネットに出ていたと言うのを聞き、又、バスの車窓から満開や散り始めた桜が見えていたので五分咲き位は期待していたが残念ながら全くのツボミ。再度桜を見に来ようという声も聞こえていたが、私も時間があれば是非訪れたいと思っている。

バス停から約1時間で屏風岩公苑に到着。いつもながら屏風岩の覆いかぶさるような迫りに圧倒される。屏風岩は高さ200m幅1500mに渡り柱状節理の巨大な岩壁が連なっており、何回かの火山活動が繰り返されて出来たと言われる国指定の天然記念物である。

屏風岩の横の登山口から住塚山に向け1.2kmを登り11時過ぎに住塚山の頂上に着く。頂上からは来週登る兜岳やその後の鎧岳が太目のコップを逆にしたような形を見せている。頂上は風がキツク各々風を避けた場所を探して昼食を取るようになった。今日は快晴で気温も高くなると言っていたので薄着できたが、雨具を着けてちょうど良いくらいである。

昼食後は屏風岩の背中を見ながら国見山に向かうが屏風岩は下から見上げる山で登る山ではないと感じた。国見山(1016m)から東海自然歩道のクマタワ峠(796m)まで高低差約200mを反対に登るのはキツイ急登になるだろうなと思いながら一気に下る。

東海自然歩道は標識もリッパで道も整備されていたが室生寺のバス停までの6.4kmの下りの長く感じる事、又バスの乗車時間が迫っていることから全員競歩に近い歩きで無事間に合った。室生寺及び大野寺の周辺は桜祭りが模様されており大勢の人が来られていた。

最後にCLの山下さん及び交通費を大幅に軽減して頂いた竹原マジシャンご苦労様でした。

(2015.4月)

